

投資事業評価調書（新規）

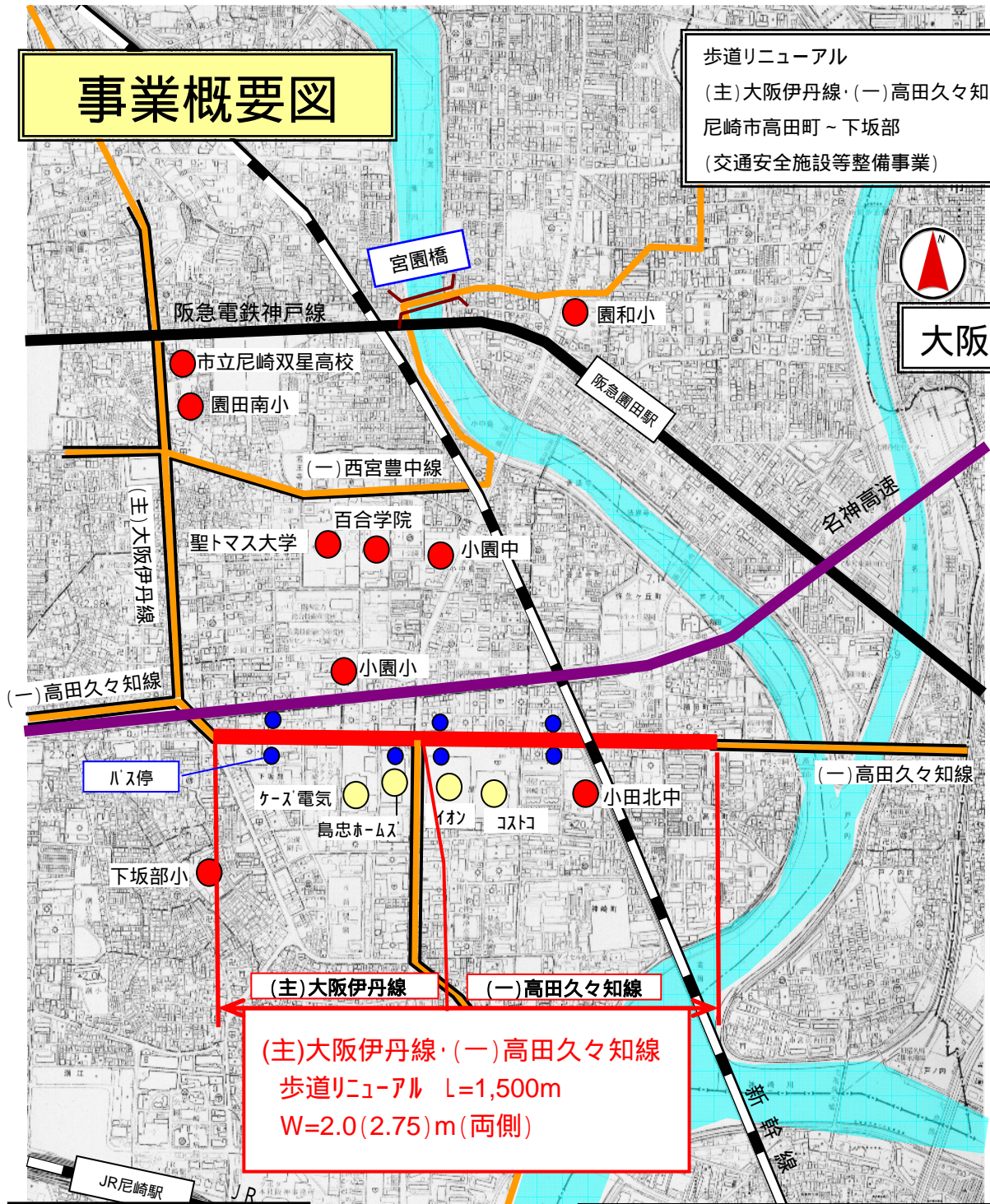
部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 北村 昭二 (交通施設係長 横山 一也)	内線	4389 (4399)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	4.2億円
		交通安全施設等整備事業 (主)大阪伊丹線 (一)高田久々知線	尼崎市高田町～ 下坂部3丁目	内用地補償費	-
所在地				着手予定年度	完成予定年度
尼崎市高田町～下坂部3丁目				平成24年度	平成28年度
事業目的			事業内容		
<p>当該事業区間は、自転車、歩行者通行量が多く、狭い歩道内で交錯していることに加え、工場、商店などの沿道利用の車両と歩行者、自転車が交差することから歩行者・自転車が関係する事故が発生するなど危険な状態となっている。このため、歩道のセミフラット化とともに、自転車道もあわせて設置することにより歩行者、自転車を分離し、歩行者、自転車の安全な通行を確保する。</p>			<p>歩道リニューアル整備（両側） L = 1,500m （主）大阪伊丹線 640m （一）高田久々知線 860m 歩道 W = 2.0m (2.75m) 自転車道 W = 2.0m 現況 歩道 W = 2.0m (2.75m) (負担割合 国5.5/10 県4.5/10)</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 [周辺状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商店や工場等の沿道利用のための乗り入れ箇所が多く、波打ち歩道となるなど、歩行者、自転車等が安全に通行しにくい状態となっている。 				
[交通状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、自転車交通量、歩行者通行量が多い。 （主）大阪伊丹線：自動車 23,031 台/日 自転車 3,051 台/12h 歩行者 1,028 人/12h （一）高田久々知線：自動車 20,405 台/日 自転車 2,517 台/12h 歩行者 827 人/12h ・事業区間内にバス停が7箇所あり、1日あたり59便が運行している。 				
[交通事故]	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間の全事故件数は219件発生している。 ・過去5年間の歩行者、自転車の交通事故は49件発生している。 ・車道上を走行する自転車と自動車との事故が多い。 				
(2)有効性・効率性 [効果]	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車道の整備により、歩行者、自転車、自動車の3者が分離され、歩道上の歩行者の安全が確保されるとともに、交通事故の低減が期待できる。 ・波打ち歩道の解消により、歩行者の快適な通行空間が確保できる。 				
[事業執行環境]	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全総点検（H22.4.15実施、地元自治会役員等24名参加）の参加者が危険性を指摘し、歩道の安全対策の必要性を求めている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部を透水性歩道舗装とすることにより、雨水の地下への還元を図る。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ショッピングセンターなどの商業施設の立地が進んできたことに加え、本年4月に市立尼崎双星高校が開校した他にも通学利用があり、歩行者、自転車の通行量が増加しているため、早期の対策が必要である。 				

事業概要図

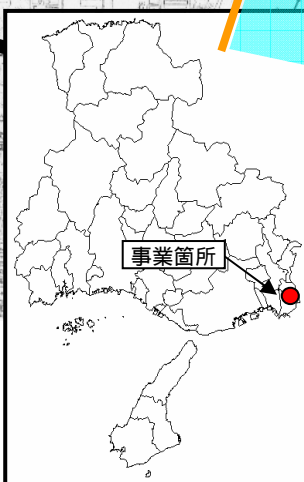
歩道リニューアル

(主)大阪伊丹線・(一)高田久々知線
 尼崎市高田町～下坂部
 (交通安全施設等整備事業)



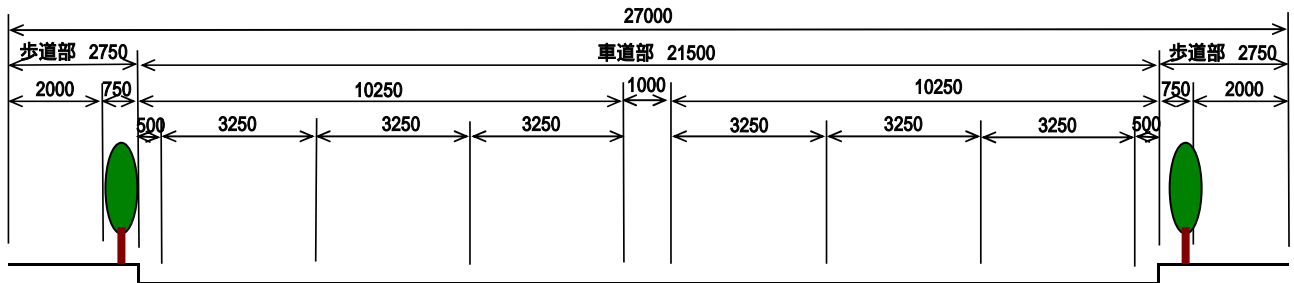
(主)大阪伊丹線・(一)高田久々知線
 歩道リニューアル L=1,500m
 W=2.0(2.75)m(両側)

凡 例	
県 道	
既設自歩道	
事業区間	



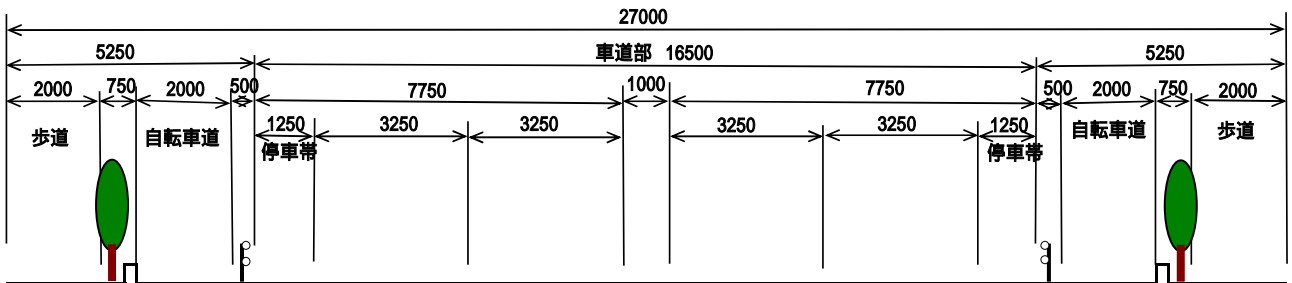
道路横断図 (現況・計画)

現況

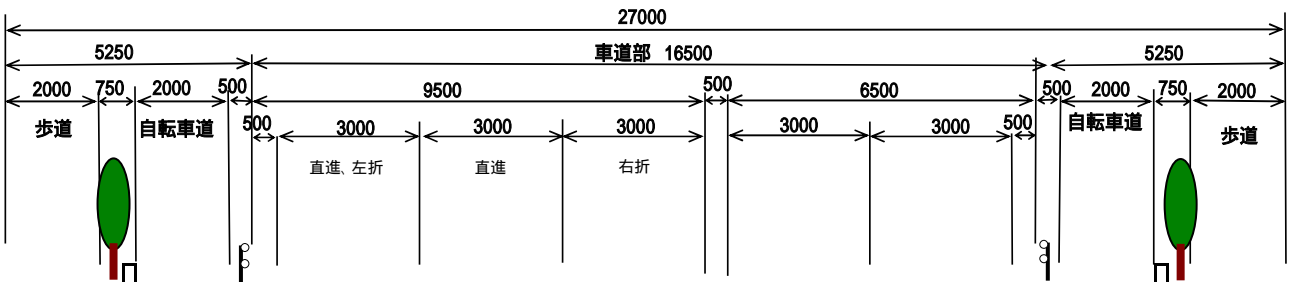


計画

一般部



交差点部



歩道の波打ち状況



自転車・歩行者の通行状況

